

山梨県

桃の会

会報 第 112 号

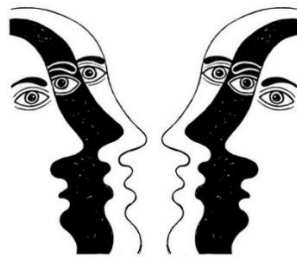


明けましておめでとうございます
今年もどうぞよろしく願いいたします



尊敬することから

「尊敬」とは人間の姿をありのままに見て
その人の存在が唯一無二の存在であることを知る能力のこと
その人がその人らしく成長、発展して
いけるように気遣うことである
勇気付けの原点である・・・とある



パワハラ、セクハラ、虐待、いじめ
人の命を奪う・・・などが蔓延する社会は
「尊敬」とは全く無縁で真逆の世界である
今一度、目の前の人を本当に大切にしているのか
そして自分を大切にできているか考えてみたい
「尊敬」の感情を育むものは
まず尊敬されることからしか
始まらないからである

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp



・・・希望が持てなくなったのはなぜ・・・

ウクライナやパレスチナでは戦争という愚かで野蛮な行為で多くの生きたい子供達の命が奪われている。日本は戦争をしている訳ではない、平和で自由で豊かな国だ。それなのに 10 代 20 代の多くの若者が自ら命を絶ってしまうことが増えているのは何故だろう。自らが自らを奪うという異様な世の中である。

本来、日常は「生きるため」にあり、生きるために命を守る。そこには希望がある。

しかし「生きる」ことが目的ではなくなり「生きるため」に価値を見いだせない、自分にとって不都合なことが起きるとそれが引き金になり不要になった紙クズを捨てるように未練なく命を捨てられるということなる。そこに本当の絶望感があるのかどうかもわからない。それは私にとって深い悲しみというより「何故・・・」と怒りのようなものが込み上げてくる。彼らの軽率さと浅はかさと、彼らをその選択肢に向かわせる社会にである。

自分という存在は 2 人の両親から生まただけではない。限りなく無数の繋がりの中で今「生」を与えられている。たった一つの命を生み出すためにどれ程の命の繋がりがあるだろう・・・と考えると自分の思考を越えた神秘の世界から今の自分がある。それを簡単なオモチャを壊すように握り潰してよいものか、小さな点の存在が膨大な宇宙を操るかのように命を操作する事は人間の傲慢さであると思う。この選ばれた命を生きる為に使って欲しいのだ。

しかし命の尊厳は「命は大事なものだ」と言葉で繰り返されて感じられるようになることではなさそうだ「あなたはとても大切なかけがえのない存在だよ」というメッセージが心に幾重にも織り込まれていくこと、自分の存在価値を認められること、その積み重ねが命に対する尊厳を生むのだろう。

私たちに今何が出来るだろう・・・と考える時、生きることに価値を見いだせない彼らへ出来ることと言えば、まずそっと暖かい真綿でくるんであげることしかないのか・・・と思う。

どのような言葉も彼らには虚しく響くだけだろう。心の傷は見えないからこちらも心の真綿で受け取め大事に守ることでその暖かさを知るようになるまで・・・少しずつ自分で暖めることができるようになる信じたい。

そしてできるだけ大勢でその若者たちの命を守れたらいい。

今早急に、そういう社会が求められていると感じている。

(H・shinohara)



第4回 10周年記念講演 *** 兄弟姉妹ならではの立ち位置と本人と親との関わり方を考える

講師 KHJ 全国ひきこもり家族兄弟姉妹の会ソーシャルワーカー 深谷貞守氏

桃の会で兄弟姉妹グループを作って2〜3年あまり経過すると思います。

参加人数は少ないですが会の必要性をグループの方々(私も含めて)は強く感じていて、今回深谷さんに講演をお願いすることになりました。ひきこもることが長くなり親が年齢を重ねると多くの人にとって他人事ではなくなると思うからです。きょうだいがいる場合は必ず直面する問題ではないでしょうか。KHJ 兄弟姉妹の会の10年あまりの活動の中から沢山の事例紹介やどのような支援制度があるかなどのお話も伺えて現実的な対応を考える機会にもなりました。皆さんからの質問にも丁寧にお答え頂きました兄弟姉妹の会の必要性、役割など深谷さんの講演資料から一部をお伝え致します。

▶ 先取り不安と何処にも相談できないこと

- ・ 親亡きあと自分の生活を維持しながら、ひきこもり本人をどのように支えていくか
自分の将来、親の今後を考えると不安になる
- ・ 「きょうだいだから」という道義的責任に苦しむ

▶ 参加する効果

- ・ 気持ちを吐き出し分かちあうことにより、自分を振り返り
本人や親との距離感を見つめ直すことができる
- ・ 「きょうだいだから」という責任に苦しむ自分を客観視していくようになり
「何とかしたい」という気持ちが「なぜ何とかしたかったのか」という動機に気づいてくる
- ・ きょうだいや親に向けた批判や不満を正直に話せるようになる
- ・ 居場所での分かち合いで気持ちが落ち着き、先取り不安などの自分の問題が明らかになる

▶ きょうだいとしての関わり方を知る

- ・ 自分の人生を何よりも優先し精神的にも経済的にも余力のところで関わり
親や本人に適切な情報提供と社会資源の活用を促す
- ・ きょうだいは親代わりになれないし、なる必要もないので何よりも自分の人生を優先する
- ・ 自分が生まれ育った家族と自分との関係性を整理し、きょうだいも自分自身を構築していく

(H.shinohara)

←左ページに参考資料として、KHJ 兄弟姉妹の会相談からのデータを掲載しております。

詳しい資料を必要とされる方は会の方(篠原)にお申しつけ下さい。

深谷さんの講演内容は10周年記念誌にも掲載されます。

当事者 Voice



当事者スペースの報告 12月17日(日) 13時～15時 びゅあ総合3F 音楽室

参加者：当事者・経験者(3名) 桃の会関係者(1名)

* スペースにおける内容

今回の当事者スペースは、人数も少人数だったこともあり、フリートークをして過ごしました。その中でも最近社会問題として取り上げられることも増えた「児童虐待とその影響」「睡眠の問題」「理不尽なことが起きた時に反撃ができるか」などの硬派な話題でのトークもありました。そして家族についての話しも。自分がどんなものを怖いと感じているかについての話しや、今年はどんな一年だったかも話題になりました。甲府市内・近辺の温泉の話しや湯治場もいいねとの話もありました

** 世話人たちの感想

今回も様々な話題が出ました。2023年の当事者スペースの最終になりました。1年間、今年も継続して開催できました。世話人スタッフ、桃の会運営委員の皆さん、参加してくれた皆さん、桃の会を支援してくださる皆さんなどに感謝です。また来年もよろしくお願いします。 米長

*** スペース参加者から教わったこと

《 般若心経の意味について 》

般若心経は〈 六波羅密・6つの修行 〉の勧めだそうです。

日々の生活の中で大事にしたいことだと思いました。

↓↓

- ・布施(ふせ) 困っている人がいたら助けて上げなさい
- ・持戒(じかい) 行いを慎みなさい
- ・忍辱(にんにく) 人からの評価に一々腹を立ててはいけない
- ・精進(しょうじん) 決めた目標に向かって精進努力しなさい
- ・禅定(ぜんじょう) 瞑想を行いなさい
- ・般若(はんにゃ) そうすれば大いなる知恵 問題解決に至る道が見つかるだろう



1月の活動日程

▶ **当事者スペース 1月21日(日) 13時～15時 びゅあ総合3Fロビー 参加費無料**

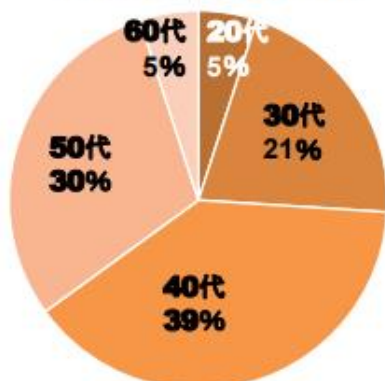
フリートーク・・・日々の出来事や感じたこと、様々な想いを自由に話します。

KHJ兄弟姉妹の相談会から見えるデータ

(2017年10月から2023年3月までの参加者のべ224名から見えるデータ)



きょうだいの年代

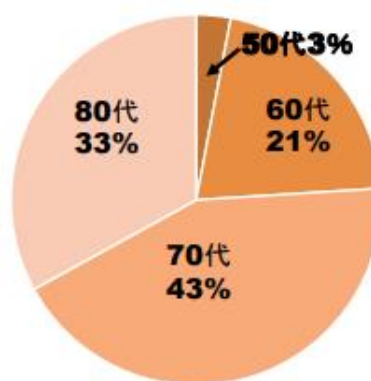


■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

40代・50代で約7割を占める

※ひきこもる本人も
概ね同年代である

親の年代



■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代

70代・80代で7割以上を占める

※両親とも逝去しているケース
は上記に含めず

KHJ全国ひきこもり家族会連合会

11

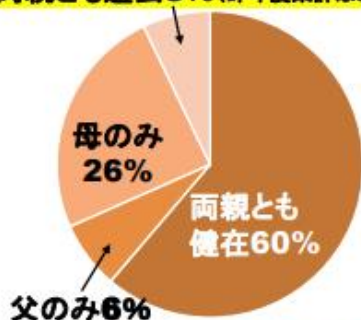
KHJ兄弟姉妹の相談会から見えるデータ その2

(2017年10月から2022年3月までの参加者のべ224名から見えるデータ)



親の生存状況

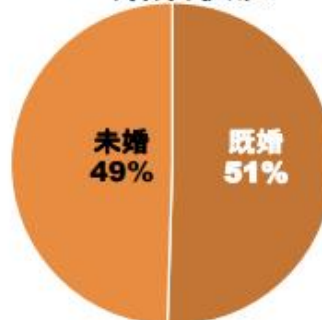
両親とも逝去8%(昨年度集計は5%)



兄弟姉妹と親との
同居・別居



きょうだいの
婚姻状況



- ・実家と別居している兄弟姉妹からの相談が多い。
- ・親の高齢化、特に一人親(母親のみ)世帯では、動けない親への複雑な思いと自分と親・本人への将来の不安を抱えている現状がある。
- ・未婚の場合は、その背景に、結婚についての悩み、家族に対する複雑な感情が伴うことも。
- ・2022年度は両親が逝去して、支えきれなくなり相談に来所するきょうだいが増大

KHJ全国ひきこもり家族会連合会

桃の会 1 月の活動



1 月は ミニグループトークと当事者スペースを行います

明けましておめでとうございます！ 今年もどうぞ宜しくお願い致します。

皆様、お元気で新年をお迎えになられましたでしょうか。

日々の生き方の小さな、小さな積み上げが必ず結果をもたらすと思います。

今年もまた新たな気持ちで一日一日を大切に生きていきましょう

令和 6 年の一年間もお互いに話す、聴く、そして心に届く時間を作れたらと思います。

皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

▶ ミニグループトーク 1 月 21 日（日）10 時～ ぴゅあ総合 3F 音楽室 一家族 ¥ 500
当事者無料

テーマ「親から子供へ・きょうだいからきょうだいや親に感謝できることができますか？」

「きょうだいにから親・きょうだいへ感謝を伝えよう」（兄弟姉妹グループ）

今年初めてのグループトークになります。グループに分かれてトークします。

今回のテーマ、もしかしたら「違和感がある」と言う方がいらっしゃるかもしれせん。彼らに困り果てていることも沢山ありますが心静かに考えてみますと彼らから多くのメッセージが私たちに投げられているように思います。

そのメッセージから何をどのようにキャッチしていくか・・・。

良い所も、悪い所からも感謝すべき所はあるかもしれせん。

今日は子供への感謝の想いを言葉にしてみましょう。

◆ 2 月の予定



- ミニグループトーク 2 月 18 日（日）10 時～ ぴゅあ総合
- 当事者スペース 2 月 18 日（日）13 時～ ぴゅあ総合



募集しています！！ 皆さんの声を募集しております！ 日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。

どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたは Fax でお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 篠原 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp

090-6190-8677 TEL&FAX 0266-78-3742

岩下 e-mail / gunthanksjp@gmail.com

090-4618-6985 Fax 055-285-3199